

<金標準、ホルムズ海峡の支配権争いで閉鎖の長期化懸念・・・>



(出所：オアシス)

パキスタンで 20 日に再協議が中止となり、市場には失望感が漂う中で、トランプ大統領はイランのインフラ攻撃を和平協議終了まで無期限に延期すると発表し、またイスラエルとレバノンの停戦期限も 3 週間延長されている。ただ米国とイランの両国はホルムズ海峡を閉鎖しており、両国の支配権の奪い合いで長期に渡り海峡の閉鎖が続く懸念が強まり、原油価格は高止まりし、金利を生まない金にとってインフレ懸念からの利上げ懸念はマイナス要因となる。ただ次期 FRB 議長候補のケビン・ウォーシュ元 FRB 理事の指名公聴会が終わり、司法省はパウエル FRB 議長に対する捜査打ち切りを発表するなど次期 FRB 議長候補の承認を優先した動きを見せている。また 25 日にパキスタンで米国とイランの接触が注目されており、米国は前向きな発言が聞かれるもイランは疑心的な発言を続けている。特に金標準は、ホルムズ海峡の長期の閉鎖リスクを受け軟調な展開を見せており、戻り売り基調には注意が必要であり、24000 円へ向けた下値模索の値動きに思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が切り下げ、シグナルは上昇が止まり。RCI は短期が下げながら、長期は切り下げている。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジを下回りながら存在しており、戻り売り基調には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 5,125,000 円(2026 年 4 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 50 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 113,520 円(2026 年 4 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>